

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【公開番号】特開2005-191503(P2005-191503A)

【公開日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-027

【出願番号】特願2003-434733(P2003-434733)

【国際特許分類】

H 01 L 21/027 (2006.01)

G 03 F 7/20 (2006.01)

H 01 S 3/00 (2006.01)

H 01 S 3/137 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/30 5 1 5 B

G 03 F 7/20 5 2 1

H 01 S 3/00 B

H 01 S 3/137

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レーザ装置からのレーザ光でレチクルを照明するステップと、

前記レチクルのパターンの像をウエハ上に投影するステップと、

前記レーザ光のスペクトル幅を計測するステップと、

前記レーザ光の中心波長を揺動することで、前記レーザ光の実効スペクトル幅を変更し

、前記パターンの像の寸法を制御するステップとを有することを特徴とする露光方法。

【請求項2】

前記ウエハ上の1点に前記レーザ光が照射される時間は、前記レーザ光の中心波長を揺動する周期の整数倍であることを特徴とする請求項1記載の露光方法。

【請求項3】

前記ウエハ上の1点に前記レーザ光が照射される時間をT1、前記レーザ光の中心波長を揺動する周期をT2とするとき、(n-0.1)T2 < T1 < (n+0.1)T2 (n:自然数)を満足することを特徴とする請求項1記載の露光方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明の一側面としての露光方法は、レーザ装置からのレーザ光でレチクルを照明するステップと、前記レチクルのパターンの像をウエハ上に投影するステップと、前記レーザ光のスペクトル幅を計測するステップと、前記レーザ光の中心波長を揺動することで、前記レーザ光の実効スペクトル幅を変更し、前記パターンの像の寸法を制御するステップを有することを特徴とする。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】